

「E7系新幹線電車」のブルーリボン賞および 「EV-E301系（ACCUM）」のローレル賞受賞について

毎年、日本国内で前年に営業運転を開始した鉄道車両の中から、特に優秀と認めた車両に対し、「鉄道友の会」が、ブルーリボン賞およびローレル賞を選出し、表彰しています。このたび

- ◇ 「2015年ブルーリボン賞」を北陸新幹線「E7系新幹線電車」が受賞しました。
- ◇ 「2015年ローレル賞」を東北本線・烏山線で走行している「EV-E301系（ACCUM）」が受賞しました。

○ 受賞車両の紹介

【ブルーリボン賞：E7系新幹線電車】

山岳区間の厳しい線区条件の下でも安全性と信頼性を確保し、「和の未来」をコンセプトとしたデザインを積極的に採用するなど、北陸への新しい大動脈となった北陸新幹線を強くアピールしていることから受賞しました。なお、共同開発した西日本旅客鉄道株式会社のW7系も同時受賞となっております。

編成	12両編成		
最高運転速度	260km/h		
営業開始時期	あさま	東京～長野	2014年3月15日
	かがやき・はくたか	東京～金沢	2015年3月14日
	つるぎ	富山～金沢	2015年3月14日
特徴	トータルデザインコンセプト 「“和”の未来」		
	【エクステリアデザイン】 <ul style="list-style-type: none">・車体上部は北陸新幹線の沿線に広がる空の青さを表現した「空色」・車体は日本的な気品や落ち着きを表現した「アイボリーホワイト」・帯として日本の伝統工芸である銅器や象嵌の「銅色（カッパー）」と北陸新幹線の沿線に広がる空の青さを表現した「空色」を配置 【インテリアデザイン】 <ul style="list-style-type: none">・グランクラスは「人と空間の和」をテーマに重厚な空間を演出・グリーン車は「様式美の和」をテーマに伝統とモダンの融合を演出・普通車は「彩の和」をテーマに明るく楽しい空間を演出		



E7系新幹線電車



グランクラス



グリーン車



普通車

【ローレル賞：EV-E301系(ACCUM)】

架線と大容量蓄電池のハイブリッド方式により、非電化路線の旅客サービスと車両の環境適合性両方の向上が図られ、非電化路線鉄道の新しい動力方式を具現化した車両として受賞しました。

編成	2両編成
最高運転速度	100km/h(烏山線内は65km/h)
営業開始時期	2014年3月
走行区間 (方式)	東北本線 宇都宮～宝積寺 約11 km (電化区間：架線方式) 烏山線 宝積寺～烏山 約20 km (非電化区間：大容量蓄電池方式)
座席配置	オールロングシート (ラッシュ時間帯の乗降時間短縮)
特徴	ディーゼルエンジンを搭載した気動車と比較して、振動・騒音が小さく、排気ガスを生じない。



EV-E301系(ACCUM)



客室

(参考) 鉄道友の会の車両顕彰 (ブルーリボン賞 1958年制定、ローレル賞 1961年制定)

会員の投票結果をもとに選考委員会が利便性や快適性、環境対応、新技術の有効活用などを評価し、最優秀車両にブルーリボン賞、優秀車両にローレル賞が授与されます。